



医療法人社団晴澄会
平成30年1月4日発行



ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は皆様の温かいご支援、ご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

本年も地域の皆様に親しまれ、信頼される病院づくりをめざし医療サービスの提供に努めてまいります。

2018年が皆様にとりまして輝かしく幸多き一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。 本年もよろしく願いいたします。



理事長 鷺谷 一郎



新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。また、皆様には輝く新年を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

当院は1971年6月に鷺谷澄夫先生によって鷺谷整形外科診療所として開院し、今年で47年目を迎えます。

1974年4月に鷺谷整形外科病院（病床数34床）となって以来、宇都宮市の西部の中核病院として長きに亘って地域医療に貢献してきました。なお、当院は栃木県で最初に磁気共鳴(MRI)装置を導入した病院として知られています。現在は、鷺谷一郎理事長の下に病床数は110床（一般51床、療養59床）で、獨協医科大学や自治医科大学などのご協力を頂きながら整形外科、循環器内科、内分泌代謝内科などを中心とした地域密着型の医療を提供しています。当院の基本理念は「迅速、ハイレベルという創業理念の下に地域医療、社会福祉に貢献する」で、地域住民の皆様の医療と福祉に貢献すべく職員が一丸となって尽力しています。

さて、2017年9月現在、65歳以上の高齢者人口は3,514万人で、総人口に占める割合は27.7%と過去最高、日本国民の約4人に1人が高齢者です。また、75歳以上の人口は1,747万人で、総人口に占める割合は13.8%です。皆様も良くご存じの通り、2025年には1947年から49年生まれた団塊の世代の人々が75歳以上の高齢者になります。厚生労働省によると、2025年には65歳以上の高齢者の人口は3,657万人(30.3%)、75歳以上は2,179万人(18.1%)と更に増加することが予想されます。つまり、わが国は世界でも例をみないスピードで超高齢化が進んでいます。このような来るべき超高齢化社会を見越して、当院の本年の目標としては高齢者の特性にも十分に配慮した医療、看護、リハビリテーションなどを実践してまいります。そして、できるだけ早く在宅復帰あるいは社会復帰できるよう務めます。そのために、本年も地域のクリニックや病院の先生方との連携を強化して地域医療に貢献する所存ですので宜しくお願い致します。

最後に、今年1年が皆様にとっても、病院にとっても良い年になりますよう祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

2018年1月 院長 北島敏光

インフルエンザについて

毎年インフルエンザの予防接種をされていますか？ どうせ接種してもかかるときはかかるし…と考える方も多いと思います。予防接種の効果は、インフルエンザの発症をある程度抑えることと、発症しても重症化しないようにすることです。“ある程度”抑えるので、残念ながら“かかるときはかかって”しまうのです。

さて、インフルエンザワクチンには4種類のウイルス株が入っています。平成26年度(2014/2015)までは3種類(A型2種・B型1種)でしたが、平成27年度(2015/2016)からA型・B型各2種類ずつに増えました。予防接種の料金が上がったことをご存知の方もいると思います。ちなみに今シーズン(2017/2018)は下記の通りです。

A/Singapore (シンガポール) /GP1908/2015(IVR-180) (H1N1)pdm09
A/Hong Kong (香港) /4801/2014(X-263) (H3N2)
B/Phuket (プーケット) /3073/2013 (山形系統)
B/Texas (テキサス) /2/2013 (ビクトリア系統)



この3シーズンB型に変更はありませんが、A型は昨シーズンが「カリフォルニア」と「香港」、さらにその前のシーズンは「カリフォルニア」と「スイス」でした。日本にいながらインフルエンザワクチンで世界を感じるのも乙なものかもしれません。

ワクチンは接種してから予防効果を発現するまで2~4週間かかり、効果が持続するのは3~5ヶ月と言われています。このため、流行が始まる12月には接種が終わっていると安心ですし、ウイルス株が見直されるので、毎年接種も必要となります。

ところで、予防接種をしたから安心！ではありません。先にも書いたとおり「発症をある程度抑える」ので、さらに予防策を講じるとより安心！となります。手指消毒や咳エチケット、マスクの着用などがあげられます。

インフルエンザはかかった人の咳、くしゃみなどとともに放出されたウイルスを、のどや鼻から吸い込むことにより感染します。また空気が乾燥すると、のどや鼻の粘膜の防御機能が低下するため、かかりやすくなります。外出する時にはマスクを着用する、室内では加湿器などを使って適度な湿度(50~60%)を保つとよいでしょう。ちなみに「咳エチケット」とは、

- ・咳やくしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる
- ・鼻汁や痰などを含んだティッシュをすぐにゴミ箱(蓋付き)に捨てられる環境を整える
- ・咳をしている人にマスクの着用を促す
- ・マスクは正しく着用する

です。咳エチケットで周囲への心配りをしていきましょう。



さて、ここまでがっちり予防策を講じていても、残念ながらインフルエンザにかかってしまったら、安静にして休養をとりましょう。特に十分な睡眠と水分補給が大事です。病院を受診する際は、必ずマスクをし、付添いの方に受付をお願いするか、付添いがいなければ病院に入る前に電話をし、受付の指示をあおぎましょう。ご自身が感染源となって感染拡大させないためにも、ご協力をお願いします。

外来担当医師一覧

		月	火	水	木	金	土	日
整形外科	午前	上田・飯村	新井	高野	鷺谷	坪山	獨協医大	中村
	午後	古宮	新井	古宮/内田	鷺谷	清水 受付17:00迄	古宮	
ペイン	午前	北島・宮本	宮本	北島	宮本	北島・伴	宮本	
	午後	宮本 受付17:00迄	宮本 受付17:00迄	滝口	宮本	伴 受付16:30迄	宮本	
内科	午前	石川	星出・柿下	升森・岡	苅尾・薄井	新崎	根岸/水野	
	午後	新崎	三澤 受付15:30迄	小林	新崎・薄井		新崎/相良	
脳外科	午前					上野	自治医大	
	午後	上野				上野		

※都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

月曜日午前の整形外科は上田先生・飯村先生の2診です。

水曜日午後の整形外科は第1・3週が内田先生 第2・4週が古宮先生です。

第1土曜日の整形外科は獨協医大・国立医療センター（交代制）の2診になります。

土曜日午前の内科は第1・3・5週が根岸先生 第2・4週が水野先生です。

相良先生の診療は不定期です。（診察日・診療時間をご確認ください）

診療受付時間

受付時間	月曜日～土曜日	午前 8:30～11:30	午後 2:00～5:30
	日曜日	午前 8:30～11:30	
診察時間	月曜日～土曜日	午前 9:00～12:00	午後 2:00～6:00
	日曜日	午前 9:00～12:00	

休診日 祝祭日及び日曜日午後



接遇委員会より

当接遇委員会はTQM（Total Quality Management）を第一に考え、患者様の当院に対するご意見を反映し、接遇問題や院内外設備改善を図ります。「患者様・ご家族の方々、並びに地域の方々」に信頼される病院づくりを目指し患者様の立場に立った医療体制を作ることを目的としています。

ご意見箱を外来待合室、2階病棟、3階病棟に設置しております



医療法人社団

晴澄会 鷺谷病院

〒321-0346 栃木県宇都宮市下荒針町3618

TEL.028-648-3851(代)

FAX.028-648-0222

ホームページ <http://www.washiya.jp>